

核兵器ってどう思う？ みんなの声をリサーチ。



PEACE
RESEARCH

学生平和意識調査



2021 年度調査結果

1994 年から開始した「学生平和意識調査」。広島市で開催された「94 年アジア競技大会」を前に、アジア留学生へ平和調査をおこなったことがきっかけでした。以来、日本人学生へ、中国地方全体へと広げ、被爆 76 年を迎えた 2021 年で第 26 回目を数えました。

調査日：2021 年 5 月 7 日～6 月 27 日／対象者：中国地方出身及び中国地方の大学・専門学校生／方法：コロナ禍の影響を受け、インターネット入力方式のみ／依頼件数：448 件／回答数：287 件／回答率：64.1%)

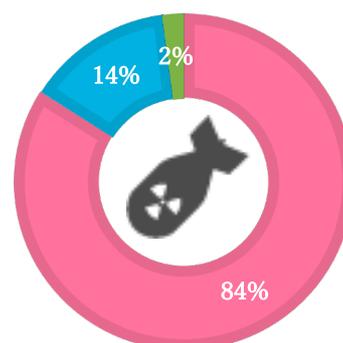
広島、長崎に原爆が投下された日はいつですか。

Q1

1945 年 8 月 6 日が正答

広島

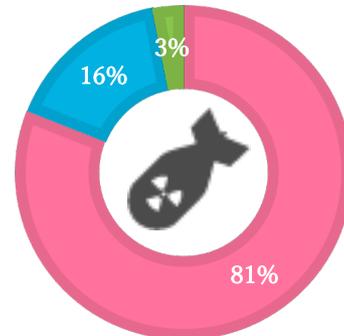
■ 正答 ■ 誤答 ■ 無回答



長崎

1945年8月9日が正答

■ 正答 ■ 誤答 ■ 無回答

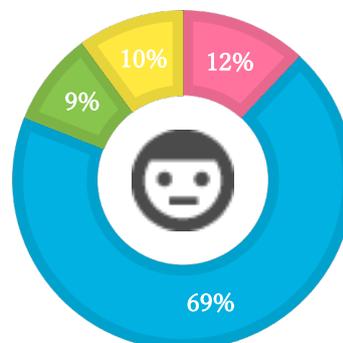


昨年を超える正答率となりました。本年もコロナ禍でネット調査のみとなり、依頼した友人の多くが「平和意識の高い」層だった可能性があります。逆に言うならば、毎年の地道な平和意識調査は、友人の平和意識向上にも役立っている可能性があると考えられると思います。

Q2

あなたは広島や長崎の原爆資料館や死没者祈念館に訪れたことがありますか。

■ 両方ある ■ 広島のみ
■ 長崎のみ ■ 両方ない

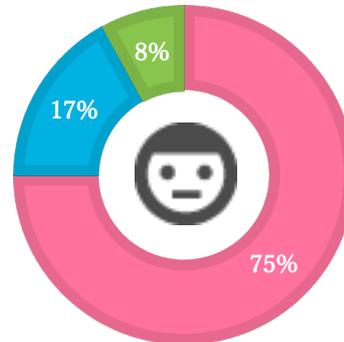


全体の90%が原爆資料館を訪れていることが分かります。小学生や中学生の時に修学旅行や課外学習で訪れた人が多く、平和学習の重要性を感じます。

Q3

あなたは被爆者の被爆体験を直接聞いたことがありますか。

- ある
- あるがあまり記憶にない
- ない

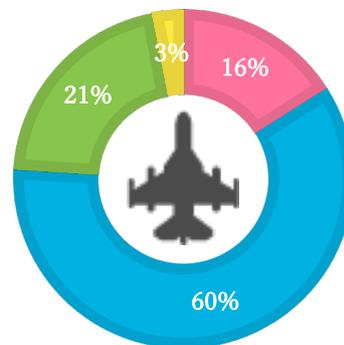


被爆体験を聞いたことがある割合が92%で、近年で最も高い割合となりました。学生にとって、被爆体験を直接聞くことが平和意識を高めることにつながるため、今後も被爆体験を聞く機会が増えるよう、挑戦していきたいと思います。

Q4

今後・戦争・紛争で核兵器の使用がありうると思いますか。

- 必ずある
- ありうると思う
- ない
- 絶対はない

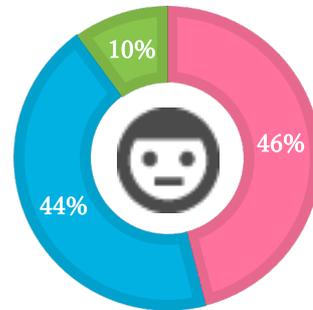


今後の核兵器使用については「必ずある」「ありうると思う」と答えた割合は76%になり、前年より5%減少。年々減少傾向にあるが、依然高い値となっています。「ないと思う」「絶対はない」と答えた割合は24%。北朝鮮の中弾道ミサイルや軍事費が増え続けていることの報道で、漠然とした不安感が広がっていると考えられます。

Q5

核兵器禁止条約への批准国が50カ国を超え、本年1月22日に発効されました。核兵器禁止条約について知っていますか。

- 知っている
- 聞いたことはある
- 知らない

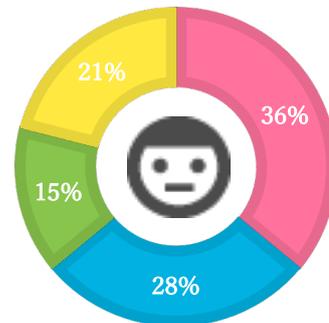


全体の90%の学生が核兵器禁止条約について「知っている」「聞いたことはある」と答えました。核兵器禁止条約発効などの報道にふれ、認知度が上がっていることが分かります。

Q6

核兵器や核の傘に依存している国々は、いまだ核兵器禁止条約に署名していません。その中で、核兵器禁止条約の発効をどう評価しますか。

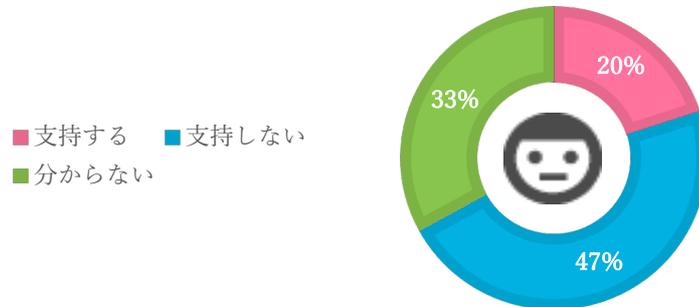
- a) 核兵器禁止条約批准国が広がるきっかけ
- b) 市民社会の議論の熱が高まるきっかけ
- c) a、bの効果は期待できない
- d) 分からない



「核兵器禁止条約批准国が広がるきっかけ」が36%、「市民社会の議論の熱が高まるきっかけ」が28%となり、前向きな回答が6割を超えました。核保有国が署名しておらず、効果はあまり期待できないとの報道もある中、学生世代が前向きな捉え方をしていることは重要だと考えます。

Q7

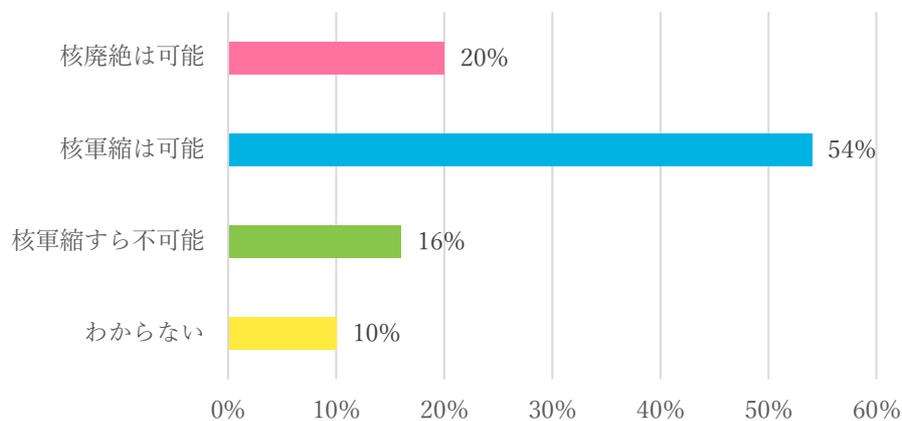
核兵器禁止条約に日本は署名しませんでした。あなたは日本政府の立場を支持しますか。



47%の学生が「支持しない」と答え、全体のおよそ半数が日本政府の核兵器禁止条約への署名を望んでいることが分かりました。また、「分からない」が33%となり、前年に比べ15%減少。核兵器禁止条約について考え、意見をもつ学生が着実に増えてきていることが分かります。

Q8

核兵器は廃絶可能と思いますか。



「核廃絶は可能」または「核軍縮は可能」との答えが全体で74%、「核軍縮すら不可能」との答えが16%となり、平年との大きな変化は見られませんでした。核軍縮・核廃絶への具体的な道筋が未だ見えていないことが一因であると考えます。